

【ロシア】

11-12 月の市場動向トピックス

- 2020 年 11 月の訪日ロシア人数は、前年同月比 94.7%減の 700 人であった。
- 2020 年 12 月の訪日ロシア人数は、前年同月比 95.5%減の 400 人であった。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本政府による上陸拒否、14 日間の隔離・PCR 検査受診等、査証の効力停止等の対象となっている。自国民の日本からの入国については、帰国前 3 日以内に指定されたポータルサイトへの PCR 検査の陰性結果を登録した場合を除き、14 日間の隔離が義務付けられている。日本への直行便は、2021 年 1 月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

11-12 月の主なプロモーション活動

- 11 月 15 日から JFEST オンラインイベントに参加し、情報発信活動を行った。2009 年より毎年開催されている大使館主催日本文化紹介事業 JFEST は、初のオンライン開催となった。昨年は週末 2 日間の開催で過去最大の 122 千名が参加したが、今年は 11 月 15 日より 3 週間の会期で「ワンクリックの距離の日本」と題し、オンライン歌舞伎やレクチャーなど 130 の企画で開催。JNTO はメディアパートナーとして、オンラインエクスカージョン 4 本(うち 1 本は生中継)および日本在住人気ブロガーによる Q&A、有名フィギュアスケート選手・エヴゲニア・メドヴェージェヴァによる日本観光のアドバイス Q&A を提供。11 月末までに 10 万人を超えるサイト訪問者があり、12 月 5 日の閉会式までにさらに訪問者が増えるよう SNS での告知を活発に行った。
- 11 月 15 日及び 25 日にウラジオストクのラジオ局 Radio Lemma にて、北海道(先月の続き、スキー編)および日本の着物の魅力をテーマにした訪日観光の特集番組を放送した。放送時間は各 50 分で、北海道は日本語通訳とブロガー、着物編はウラジオストク大学の教授により情報発信を行った。
- 11 月 25 日、ハバロフスクのラジオ局 Vostok Rossii にて、JNTO ハバロフスクのレップが、夜のゴールデンタイムに放送される番組「Japan on Air」にて 25 分間、日本全体の観光・文化魅力について説明した。番組終了後、視聴者から日本に行く方法、またいつ観光できるのか等、130 件の問い合わせがあった。
- 11 月 5 日にウラジオストクの有力情報ポータルと Fregat Aero 旅行社と連携し、日本フォトコンテストを実施した。作品受付は 11 月 26 日までで、審査(インスタグラムにてオープン式の投票)は 12 月 6 日まで、12 月 7 日に優勝者を発表。懸賞品は、1 位は往復航空券(ウラジオストクー東京)、2 位と 3 位はタンブラーやエコバック。
- 12 月にオウンドプラットフォームを利用したウェビナーを 3 回集中で BtoB、BtoC 向けに実施。各回のテーマを絞り(アウトドア・ウェルネス・ハネムーン)外部のスピーカーを招き Q&A やインタビュー形式で行った。視聴者の離脱率の低いウェビナーとなった。3 回の視聴者数はライブで 373 名、アーカイブは約 100 名(12 月 24 日現在)。
- ハバロフスクのロイズチョコレート(本社:札幌)と連携し、人気ラジオ局 Autoradio にて「北海道旅行」というテーマの訪日旅行を宣伝するラジオ番組を制作・放送し、訪日旅行認知度向上を図った。現地の有名なブロガーと日本文化愛好会をゲストスピーカーとして活用し、北海道のスキーを始め、札幌や旭川の観光地や交通の利便性について語り、北海道のクイズも行った。ラジオ局のインスタグラムでアンケートを行ったところ、回答者は 327 名に登った。

(1) JFEST2020 オンラインにおける活動



<JFEST ウェブサイト>



<JNTO による京都観光オンライン生中継>



<有名フィギュアスケート選手による訪日観光のアドバイス、人気プロガーQA 動画>

(2) 訪日観光魅力を紹介するロシア極東地域でのラジオ番組放送



② 北海道特集収録の様子(11月)



① 着物の魅力というテーマの番組収録の様子(11月)



④ クリスマスラジオ番組(告知)の様子(12月)

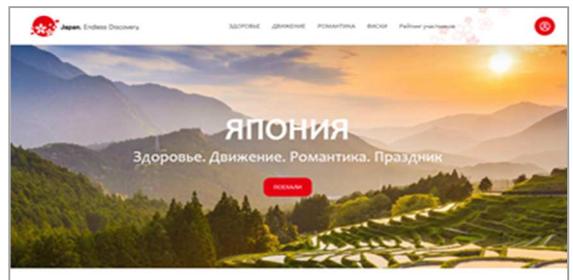


③ ロイズチョコレートと連携したラジオ番組の生放送の様子

(3) オウンドプラットフォームを利用したウェビナー



<アウトドア回・スキーについて語る外部スピーカー>



<ウェビナーサイト>